

山田町「新たな観光拠点」基本計画（素案）に係るパブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

実施期間	令和2年2月28日から令和2年3月13日まで
周知期間	町ホームページ及び広報やまだ（令和2年3月1日）への掲載
資料の閲覧場所	役場町民ホール、役場復興企画課、ふれあいセンターはびね、役場豊間根支所、役場船越支所に備え付けたほか、町ホームページへ掲載
意見提出状況	6人

2 提出された意見の内容及び意見に対する町の考え方

No	該当ページ及び項目	意見の内容	意見に対する町の考え方
1	P8 テナントスペースについて	・山田町にあるケーキやお寿司のレベルは高いです。新道の駅で商品の販売をし、多くの方に知ってもらい、ファンになってもらいたい。テナントに入ってもらおうお店には、本店にはない新道の駅限定の商品を用意してもらうことはもちろん、また、本店アピールもできると、人の流れもできるのではないかと考えます。	テナントスペースについては、若い方々を中心に、地元の既存店舗や新規店舗などに新店を出店していただきたいと考えております。 新道の駅限定の商品については、（仮称）発起人会において事業展開を検討する中で、前向きに取り組んでまいります。
	P12 地域の皆さんが集まる拠点について	・外からの集客ももちろん大切ですが、何よりも地元の方々に愛される拠点づくりが重要になってくると思います。地元の方が多く行くようになればそれだけでにぎわいます。スペース、という話ではないかも知れませんが、山田町にはイオンやマストのような大きな広い建物がないので、天気の悪い日など子どもを安心して連れて行ける場所が限られていました。道の駅の	基本構想では、「地元客」「観光客」「通過客」の利用を前提とした整備コンセプトとしており、地元の方が楽しみ、様々なことに参画できる拠点を目指すとしております。 ご意見のとおり、子ども連れの方などでも、安心して気軽に憩える施設整備を進めたいと考え

		中をベビーカーでプラプラしてもいいような、カジュアルな感じもいいなと思います。イベントがある時だけとかじゃなく、いつでもプラッと行ってみてもいい、と思える感覚。そんな道の駅を望みます。	ております。
2	P1、P24 24 時間トイレについて	・トイレについては、立ち寄る理由になるし、特に女性用トイレの充実が広告効果も考えて力を入れる必要性を感じます。そのため、女性用トイレ・パウダールームの設置数を算定数の 1.5 倍程度まで増やす必要があるのではないかな。 ・特徴があることもさることながら、キレイで居心地がいいトイレを維持するため、特に夜間の清潔さの維持を考慮してほしい。厚木 P A のトイレはインパクトもあり、清潔感があり、理想的だと感じた。	トイレについては、標準的な設計基準を基に、施設規模や設置数を算定しており、現道の駅に較べ十分な設置数を確保できる見込みであります。パウダーコーナーについては近隣の道の駅を参考としながら必要数を検討していきます。 トイレの維持管理については、検討専門部会においても、掃除のしやすさが話題に挙がったことから、(仮称) 発起人会あるいは運営準備の過程の中でご意見を踏まえながら検討を進めてまいります。
	P6 飲食施設について	・テナントスペースも含めてのことだが、スローフードとファストフードの両立。定番商品と限定商品の両立が、リピーターを呼ぶ秘訣だと考える。自分で焼いてとか浜焼きでとか、そればかりにこだわると自己満足になりがち。押しつけにならないようにしてほしい。人が作った美味しい料理をゆっくり食べたいというニーズは必ずあるので、それにも対応するような柔軟な考え方を求めたい。 ・5 年間山田で働いて一番様変わりしたことは、残念ながら海が	飲食施設については、整備コンセプトに沿って、町ならではのメニューを提供できることを目指しつつ、ファストフードなどの提供により、気軽さを求めるニーズにも対応していきたいと考えており、発起人会、運営準備の過程の中で先進事例の視察なども行いながら検討してまいります。 検討委員会においても、海の見える展望台など

	見えなくなったこと。また、海が見える飲食店がカキ小屋しかなく、山田湾を観光資源としたいのにも関わらず、それがなく、それがウイークポイントになっていることを感じる。コスト的には厳しいと思うが、海が見える展望レストランを希望したい。道の駅の別館として、堤防の外に長屋風の飲食施設を並べるのも手だと思う。	の意見を多くいただいておりますが、道の駅自体でその実現は難しいと考えております。 既存の町内ビュースポットへの誘導する仕掛けや、近隣に新たなビュースポットを整備することなどで対応したいと考えておりますが、展望レストラン等の施設整備は難しいと考えております。
P9 産直施設について	・土産品については、特徴ある冷凍・チルド品も必要ですが、土産には、「常温で日持ちのする個装のもの」が必須です。商品開発の強化をお願いしたい。 ・繁盛している道の駅は、地元の人々の通期利用が欠かせない。東京八王子の道の駅「たきやま」などは、顔の見える農産品が常に配置され、固定客がついている。長野のサン・クゼールのように地元農産品の加工食品製造・販売ができるテナントを入れることにより、6次産業化を進めることも可能となると思う。ちなみに、サン・クゼールは商品がとてもオシャレでデザインも洗練されています。調査してみてください。 ・産直施設としては、埼玉県日高市にあるサイボク（埼玉種畜場）は、豚肉のテーマパークと言われるほど、常に賑わっている施設ですが、肉自体の開発で高級な精肉と加工品をそろえており、産直は地元のレストランが併設されています。構成としては参考になると思います。	土産品や産直施設などについては、いただいたご意見を踏まえながら、先進地の現地視察なども行いつつ、魅力的な施設となるよう検討してまいります。

	P2 整備方針について	・継続していけるように、山田町の地元の皆さんが儲けることができる施設にしてください。期待しています。	町内の様々な方々が参画し、継続的に発展して行ける道の駅になるよう、全力で取り組んでまいります。
3	P48 現道の駅施設の在り方について	・住民の一人として、モノをおさめるのに（現道の駅の）15%の手数料は高い。せめて10%にしてくれないか。	新道の駅の運営母体については、町内有志の方々と立ち上がる予定の（仮称）発起人会を土台として組織化されることを目指しております。 現道の駅の運営方針が、新道の駅でそのまま採用されるかどうかは未定であり、ご意見があった手数料を含め、（仮称）発起人会あるいは運営母体において議論されていくものと考えております。
4	P47 運営母体の機能強化について	・発起人会あるいは運営母体の方々は、全員で全国の道の駅を視察してくれることをお願いします。私は全国の道の駅全部を廻る予定でしたが、熊本に新しい道の駅が出来た時に行く予定でしたが、都合が悪く後回しにしていたら、地震があり予定どおり行っていたら、と怖くなりその後は行っておりません。全部では無いですが1123カ所廻りました。	発起人会あるいは運営母体の方々も含め、先進地の現地視察なども行いつつ、魅力的な施設となるよう検討してまいります。
5	P3 道の駅の整備コンセプトについて	・群馬県に日本一と呼ばれている道の駅があり、「食が豊か」という印象を受けました。そこには地元産の材料をつかった蕎麦、ラーメン、おにぎり、ピザ、肉料理などデザートも含めると8店舗以上が出店しています。物産館、体験教室、おしゃれなスイーツショップ、観光案内所もありましたが、圧倒的なこの「食の豊か	飲食施設については、整備コンセプトに沿って、町ならではのメニューを提供し、山田の食の豊かさに的を絞った施設にしたいと考えております。 いただいたご意見を踏まえながら、先進地の現

		さ」の前に霞んでいました。山田町の新しい道の駅もあれもこれもとエネルギーを分散させるのではなく、山田の食の豊かさに的を絞ったテーマパークにすることを提案します。	地視察なども行いつつ、魅力的な施設となるよう検討してまいります。
6	P2 道の駅の整備方針について	・海も山もある山田町ですが、「牡蠣の町、山田町」といったように、テーマを 1 つに決めてお客様を呼び込むのが分かりやすいのかと思います。	検討専門部会においても同様のご意見をいただいております、テーマを絞った形で施設整備や運営方法を進めていく必要があると考えております。 設計段階等においても、ご指摘を踏まえつつ取り組んでまいります。
	P5 休憩施設、観光案内施設について	・レンタサイクルの貸し出しとありますが、レンタルバイクもあるともう少し遠出できるので、観光のお客様には嬉しいのではないかと思います。 ・震災についてくわしい紹介スペースを設けてほしい。 ・山田の歴史、地形、文化（捕鯨）、地元の食べ物など、初めて来たお客様に山田がどんなところかを知ってほしい。 ・子どもが夢中になれるスペースとして以下はいかがでしょうか。 「2m くらいの長さのロープを吊るし、牡蠣棚をイメージして設置、牡蠣やホタテになりきってロープを登って遊ぶなど（牡蠣やホタテの殻のマントを羽織って）。」 ・災害に備えたマンホールトイレなどの設置、備蓄倉庫、災害用電力はありますか？ ・観光のお客様は、その土地の食べ物、その土地の言葉や文化を体験しに来ます。やはり山田の人と会話するのが一番ですが、山田	いただいた様々なご提案につきましては、設計段階や（仮称）発起人会の取組において、実施について検討していきたいと考えております。

		を耳からも体験できるスポットとして、ある箇所を通るとセンサーが感知して山田弁で「おでんせ」や「ねまったんせ」など、上から声の音が降ってくるというようなスポットを設けてはいかがでしょうか。	
	P9 産地直売施設について	・ホタテや牡蠣、赤皿貝、ムール貝などが泳ぐ、かなり大きな水槽（生け簀）を設置。その横に実際の漁師さんが販売する場所を設けてほしいです。漁師さんから商品を買うという安心感と、漁師さんに会える！という他にはない道の駅になるのではと思います。	検討専門部会においても同様のご意見をいただいております。実施について前向きに検討したいと考えております。